



Title	初等函数ノ特徴付ケ
Author(s)	春木, 博
Citation	全国紙上数学談話会. 1944, 263, p. 117-125
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/75109
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

1176. 初等函数ノ特徴付ケ

春木 博 (神戸高等商船學校)

§ 1. 指数函数ノ特徴付ケ

指数函数 $\sum_{n=0}^{\infty} \frac{z^n}{n!}$ ハ解析学ニ於テ、重要ナル意義ヲ持ツ。今之レヲ種々ノ方面ヨリ特徴付ケテ見ヨウ。

定理1 $f(z)$ ヲ或ル領域 D ニ於テ、一價正則ナル函数トシ、且ツソコデ、函数方程式 $f(z_1 + z_2) = f(z_1)f(z_2)$ ヲ満足スルナラバ $f(z) = e^{\alpha z}$ デアル。但シ茲ニ、 α ハ任意ノ複素常数トシ、 $f(z) \equiv 0$ ナル場合ハ除ク。

定理2 $f(z)$ ヲ或ル領域 D ニ於テ、一價正則ナル函数トシ、且ツソコデ、微分方程式 $f'(z) = f(z)$ ヲ満足スルナラバ $f(z) = \alpha e^z$ デアル。但シ α ハ任意ノ複素常数ナリトスル。

定理3 $f(z)$ ヲ整函数トシ、且ツ次数 ρ ナル値ヲ取ラザレバ $f(z) = e^{\alpha z + \beta}$ デアル。但シ α ナラザル任意ノ複素常数デ、 β ハ任意ノ複素常数トスル。

以上ノ三定理ノ証明ハ容易デアル。

定理4 $f(z)$ ヲ或ル領域デ、一價正則ナル (恒等的ニハ常数デナイ) 函数トシ、ソノ領域デ、 $|f(z)|$ ガ x ノミノ函数ナラバ、 $(z = x + iy)$ 、 $f(z) = e^{\alpha z + \beta}$ デアル。但シ α ハ 0 ナラザル任意ノ實常数トシ、 β ハ任意ノ複素常数ナリトスル。

(証明) $f(z)$ は恒等的=常數デナイ正則函數デアラカラ、
 D ノ適當ナ部分領域 D^* デハ $f(z) \neq 0$ デアル。

故ニ、 $\varphi(z) = \log f(z)$ トオケバ $\varphi(z)$ ハ D^* = 於テ、一價正則デ、且ツ $f(z)$ ノ假定カラ $\{R\{\varphi(z)\}$ ハ $\varphi(z)$ ノ實數部分ヲ表ス}

$$R\{\varphi(z)\} = P(x)$$

茲ニ $P(x)$ ハ x ノ ミノ調和函數ナル故 $P(x) = \alpha x + \beta$
但シ α, β ハ任意ノ實常數デ $\alpha \neq 0$ ナリトスル。

之ヨリ $f(z) = e^{\varphi(z)}$ 戻レバ $f(z) = e^{\alpha z + \beta}$ トナル。但シ α ハ
 0 ナラザル任意ノ實常數デ、 β ハ任意ノ複素常數ナリト
スル。

以上ノ四定理ニ於テ $f(z) = e^z$ トスルニハ **定理1** = 於
テハ $f'(0) = 1$ (D ガ原点ヲ含ムトスル), **定理2** = 於テ
ハ $f(0) = 1$ (D ガ原点ヲ含ムトスル), **定理3** 及ビ **定理4**
= 於テハ $f(0) = 1, f'(0) = 1$ 等ノ假定ヲ附ケ加ヘレバ
ヨイ。

筆者ハ、教物記事 Vol. 25, No. 7 July, 1943 = 於テ次ノ
理ヲ証明シタ。

定理5 $f(z)$ ヲ原点ヲ含ム或ル領域 D = 於テ一價正則ニ
シテ、且ツ D = 於ケル $f(z)$ = 關スル *Betragfläche*
ノ凡ベテノ點ガ拋物點ナル函數トシ、更ニ $f(0) = f'(0)$
= 1 ナラバ、 $f(z) = e^z$ デアル。

次ニ函數ノ單葉性ニ依リ初等函數ヲ特徴付ケテ見ヨウ。
先ツ指數函數カラ始メル。ソレニハ次ノ *Bieberbach*

1 定理及び Löwner 1 定理が基本ナル。

Bieberbach 1 定理 $f(z) = z + a_2 z^2 + a_3 z^3 + \dots + a_n$

$z^n + \dots$ が $|z| < 1$ デー價正則且ツ單葉ニシテ、 $a_2 = 2e^{i\theta}$ ナラバ

$$f(z) = \frac{z}{(1 - e^{i\theta} z)^2} \text{ デアル。但シ } \theta \text{ ハ任意ノ實数ナリト}$$

スル。

Löwner 1 定理 $f(z) = z + a_2 z^2 + a_3 z^3 + \dots + a_n z^n + \dots$

が $|z| < 1$ デー價正則且ツ單葉ニシテ、 $a_3 = 3e^{2i\theta}$ ナラバ

$$f'(z) = \frac{z}{(1 - e^{i\theta} z)^2}$$

デアル。但シ θ ハ任意ノ實数ナリトスル。

定理 6 $f(z)$ が $0 < \varphi(z) < 2\pi$ ($\varphi(z)$ ハ z ノ虚数部分ヲ表ハス) デ。一價正則且ツ單葉ニシテ、次ノ (1), (2) ノ中、何レカ一方ノ条件ヲ満足スルナラバ $f(z) = \alpha e^{\frac{z}{\beta}}$ デアル。茲ニ α ハ 0 ナラザル任意ノ複素常数、 β ハ任意ノ複素常数ナリトスル。

$$(1) f'(i\pi) = f''(i\pi)$$

$$(2) f'(i\pi) = f'''(i\pi)$$

(証明) $g(z) = f\left\{2 \log \frac{i(1+z)}{1-z}\right\}$ トオケバ、 $f(z)$ = 関スル假定ニヨリ、容易ニ $g(z)$ ハ $|z| < 1$ ニテ、一價正則ニシテ且ツ單葉ナルコトガ判ル。

$g(z)$ ノ巾級数ニ展開スレバ

$$g(z) = f(i\pi) + 4f'(i\pi)z + 8f''(i\pi)z^2 + \frac{4}{3}\{f'(i\pi) + 8f'''(i\pi)\}z^3 + \dots$$

$f(z)$ / 単葉性 = 依り. $f'(i\pi) \neq 0$ ナル

故 $h(z) = \frac{g(z) - f'(i\pi)}{4f'(i\pi)}$

トオクトキ

$$h(z) = z + \frac{2f''(i\pi)}{f'(i\pi)}z^2 + \frac{1}{3}\left\{1 + \frac{8f'''(i\pi)}{f'(i\pi)}\right\}z^3 + \dots$$

(1) ナル條件が満足サレレバ、 $h(z)$ ハ $|z| < 1$ デ正則且ツ
 単葉デ z^2 / 係数が 2 ナル故 Bieberbach / 定理 =
 ヨリ (0 = 0 ナル場合)

$$h(z) = \frac{z}{(1-z)^2}$$

同様ニシテ、(2) ナル條件が満足サレレバ、前記 Löwner
 / 定理 = ヨリ (0 = 0 ナル場合)

$$h(z) = \frac{z}{(1-z)^2}$$

何レノ場合ニモセヨ、オキ戻セバ $f(z) = \alpha e^z + \beta$ ($\alpha \neq 0$)
 / 形ニナル。

上ノ定理ヨリ直ニ二次ノ系ヲ得ル。

系 $f(z)$ ヲ **定理6** / 條件ヲ満足スル函数トシ、更ニ $f(i\pi) = -1$, $f'(i\pi) = -1$ ナラバ $f(z) = e^z$ デアル。

§2. 次ニ三角函数ヲ **定理6** ヲ得タ時ト同ジセウナ方法

ニヨツテ特徴付ケテ見ヨフ。

先ヅ $\sin z$ ノカラ始メル。

定理7 $f(z)$ ガ $-\frac{\pi}{2} < R(z) < \frac{\pi}{2}$ ($R(z)$ ハ z / 實数部分ヲ

表ハスルヲ、一價正則且ツ單葉ニシテ、ソコデ1ナル値ヲ取ラズ $f(0)=0, f'(0)=1, f''(0)=0$ ナラバ $f(z) = \sin z$ デアル。

(証明)

$$g(z) = \frac{1}{f(i \log \frac{1+z}{1-z}) - 1} \quad \text{トオケバ、} f(z) = \text{関スル假}$$

定ニヨリ、容易ニ、 $g(z)$ ハ $|z| < 1$ ニテ、一價正則ニシテ、且ツ單葉ナルコトガ判ル。

$g(z)$ ノ中級数ニ展開スレバ

$$g(z) = -1 - 2iz + 4z^2 + \dots$$

$$h(z) = -\frac{g(z)+1}{2i} \quad \text{トオケバ}$$

$$h(z) = z + 2iz^2 + \dots$$

$h(z)$ ハ $|z| < 1$ デ一價正則且ツ單葉ニシテ z^2 ノ係数が $2i$ ナル故、前記 Bieberbach 1 定理ニヨリ ($\theta = \frac{\pi}{2}$ ナル場合)

$$h(z) = \frac{z}{(1-iz)^2}$$

オキ戻セバ、 $f(z) = \frac{e^{iz} - e^{-iz}}{2i} = \sin z$

次ニ $\cos z$ ノ特徴付ケヨウ、

定理 2 $f(z)$ ガ $0 < R(z) < \pi$ デ一價正則且ツ單葉ニシテ、ソコデ1ナル値ヲ取ラズ、 $f(\frac{\pi}{2})=0, f'(\frac{\pi}{2})=-1, f''(\frac{\pi}{2})=0$ ナラバ $f(z) = \cos z$ デアル。

(証明) $f_1(z) = f(\frac{\pi}{2} - z)$ トオケバ、假定ニヨリ、 $f_1(z)$

ハ $-\frac{\pi}{2} < R(Z) < \frac{\pi}{2}$ デ一價正則且ツ單葉ニシテ、ソコデ
 1ナル値ヲ取ラズ。 $f_1(0) = 0$, $f_1'(0) = 1$, $f_1''(0) = 0$ ナ
 ルコトガ判ルカラ。

定理 7 = ヨリ $f_1(Z) = \sin Z$

オキ戻セバ $f(Z) = \cos Z$

次ニ $\tan Z$ ヲ特徴付ケヨウ。

定理 9 $f(Z)$ ガ $-\frac{\pi}{2} < R(Z) < \frac{\pi}{2}$ デ一價正則且ツ單葉
 ニシテ、ソコデ 0ナル値ヲ取ラズ、 $f(0) = 0$, $f'(0) = 1$,
 $f''(0) = 0$ ナラバ

$f(Z) = \tan Z$ デアル。

(証明) 定理 7ニ於ケル証明ノヤウニ、今度ハ

$$g(Z) = \frac{1}{f(i \log \frac{1+Z}{1-Z}) - i}$$

トオケバ、アトハ全ク同ジヤウニシテ出赤ル。

次ニ $\cot Z$ ヲ特徴付ケヨウ。

定理 10 $f(Z)$ ガ $0 < R(Z) < \pi$ デ、一價正則且ツ單葉
 ニシテ、ソコデ i ナル値ヲ取ラズ $f(\frac{\pi}{2}) = 0$, $f'(\frac{\pi}{2}) = -1$,
 $f''(\frac{\pi}{2}) = 0$ ナラバ $f(Z) = \cot Z$ デアル。

(証明) $f_1(Z) = f(\frac{\pi}{2} - Z)$ トオケバ定理 9ニ歸着サレル。

以上ノ結果ヲ表示スレバ次ノ如クナル。

正則単葉領域	指定した除外値	函数及その導函数、値=ツイ、条件	求ムル函数
$0 < \Im(z) < 2\pi$		$f(\pi i) = f'(\pi i) = f''(\pi i) = 1$	e^z
$-\frac{\pi}{2} < \Re(z) < \frac{\pi}{2}$	1	$f(0) = 0, f'(0) = 1, f''(0) = 0$	$\sin z$
$0 < \Re(z) < \pi$	1	$f(\frac{\pi}{2}) = 0, f'(\frac{\pi}{2}) = -1, f''(\frac{\pi}{2}) = 0$	$\cos z$
$-\frac{\pi}{2} < \Re(z) < \frac{\pi}{2}$	i	$f(0) = 0, f'(0) = 1, f''(0) = 0$	$\tan z$
$0 < \Re(z) < \pi$	i	$f(\frac{\pi}{2}) = 0, f'(\frac{\pi}{2}) = -1, f''(\frac{\pi}{2}) = 0$	$\cot z$

次 = $\sec z$ を特徴付けよう。

定理 11 $f(z)$ が $0 < \Re(z) < \pi$ で単葉ニシテ、 $z = \frac{\pi}{2}$ で極ヲ有シ、他ノ点デハ一價正則デ、ソコデ 0, 1 ナル値ヲ取ラズ、

$h(z) = \frac{1}{f(z)}$ トオクトキ $h'(\frac{\pi}{2}) = -1, h''(\frac{\pi}{2}) = 0$ ナラバ

$$f(z) = \sec z \quad \text{デアル。}$$

(証明) $h(z)$ が定理 8 の条件ヲ満足スルコトカラ明カデアル。

次 = $\operatorname{cosec} z$ を特徴付けよう。

定理 12 $f(z)$ が $-\frac{\pi}{2} < \Re(z) < \frac{\pi}{2}$ で単葉ニシテ、

$z = 0$ で極ヲ有シ、他ノ点デハ一價正則デ、ソコデ 0, 1 ナル値ヲ取ラズ、 $h(z) = \frac{1}{f(z)}$ トオクトキ $h'(0) = 1, h''(0) = 0$ ナラバ

$$f(z) = \operatorname{cosec} z \quad \text{デアル。}$$

(証明) $f(z)$ が定理7の条件ヲ満足スルコトカラ明カ
デアル。

§ 3. 二次式 $aZ^2 + bZ + c$ の特徴付ケ

筆者ハ数物記事 Vol. 25, No. 7, July 1943. 於テ、次
ノ定理ヲ證明シタ。

定理13 $f(z)$ が $R(z) > 0$ デー價正則且ツ單葉ニシテ
ソコデ、次ノ(1) 或ハ(2)ノ条件ノ中、何レカ一方ヲ満足
スルナラバ、

$$f(z) = \alpha z^2 + \beta$$

デアル。但シ α ハ 0 ナラザル任意ノ複素常数、 β ハ任意
ノ複素常数トスル。

$$(1) \quad f''(1) - f'(1) = 0$$

$$(2) \quad f'''(1) + 3f''(1) - 3f'(1) = 0$$

次ニコノ定理ヲ利用シテ一次変換 $Z' = Z + \frac{b}{2a}$ = ヲリ

容易ニ次ノ定理ヲ得ル。

定理14 $f(z)$ が $R(z) > R\left(-\frac{b}{2a}\right)$ デー價正則且ツ單葉
ニシテ、ソコデ次ノ(1), (2)ノ中何レカ一方ノ条件ヲ充ス
ナラバ

$$f(z) = \alpha(aZ^2 + bZ + c)$$

デアル。但シ α, a ハ 0 ナラザル任意ノ複素常数、 $b,$
 c ハ任意ノ複素常数ナリトスル。

$$(1) f''\left(1 - \frac{b}{2a}\right) - f'\left(1 - \frac{b}{2a}\right) = 0$$

$$(2) f'''(1 - \frac{b}{2a}) + 3f''(1 - \frac{b}{2a}) - 3f'(1 - \frac{b}{2a}) = 0$$

§ 4. 巾函数ノ特徴付ケ

次ニ、巾函数 Z^n (n ハ正ノ整数)ヲ特徴付ケテ見ヨウ。

定理15 $f(z)$ ガ $-\frac{\pi}{n} < \arg C(z) < \frac{\pi}{n}$ デ一價正則且

ツ單葉ニシテ且ツ $(n-1)f'(1) - f^n(1) = 0$ ナラバ

$$f(z) = \alpha z^n + \beta$$

デアル。但シ n ハ正ノ整数ニシテ、 α ハ0ナラザル任意ノ複素常数、 β ハ任意ノ複素常数ナリトスル。

(証明) $g(z) = f\left\{\left(\frac{1+z}{1-z}\right)^{\frac{n}{2}}\right\}$ トオイテ前述ノ方法ニ従ヘバ同様ニシテ出來ル。

系 $f(z)$ ガ定理15ノ条件ヲ満足シ、更ニ $f(1) = 1$,

$f'(1) = n$ ナラバ $f(z) = z^n$ デアル。

-(完)-